

日本生体医工学会 平成22年度 第3回理事会 議事録

日時： 平成22年11月5日 14時～17時

場所： ホテル東京ガーデンパレス 3F 桂

出席者

会長	副会長	理事										監事		幹事		支部長		事務局								
田村 俊世	砂川 賢二	千原 國宏	阿部 裕輔	生田 幸士	石原 謙	小笠原 康夫	佐久間 一郎	杉町 勝	千田 彰一	土肥 健純	林 紘三郎	堀 正一	牧川 方昭	湊 小太郎	山越 憲一	山家 智之	菊地 眞	橋爪 誠	中村 亮一	大城 理	河原 剛一	松田 兼一	岩田 彰	楠岡 英雄	梶谷 文彦	徳山 久美子
○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	○

配布資料

- 22-3-2 平成22年度第2回理事会議事録(案)
- 22-3-3 平成22年度第3回理事会入退会審査対象者
- 22-3-4 第32回第2種ME技術実力検定試験報告書
- 22-3-5 新, 旧対照表 101022 について
- 22-3-6 平成22年度選奨委員会
- 22-3-7 平成23・24年度代議員候補者選挙開票結果
- 22-3-8-1 2010年(48巻1,2,3,4,5号)論文の投稿・審査状況
- 22-3-8-2 2010年度第2回編集委員会(Web Mail 会議)議事録
- 22-3-8-3 生体医工学50周年記念誌編集方針について
- 22-3-9 ME選書シリーズ(仮称)について(第1次案)
- 22-3-10 社団法人日本生体医工学旅費規程 新旧対照表
- 22-3-14 第49回日本生体医工学会大会決算報告書
- 22-3-15-1 任期未了の理事・監事を代議員に含める方法について
- 22-3-15-2 オーストラリアと米国の新しい組織の会員資格の申請について
- 22-3-15-3 第31回第2種ME試験報告並びに合格者承認について

- ・生体医工学シンポジウム2010(JBME2010)報告
- ・科学新聞賞・新技術開発賞選考委員会委員(案)
- ・理事・監事および代議員選挙規程

議事

1. 理事会成立の件 (総務 湊)

定款に定める要件を満たしている（理事出席 13 名 委任状 3 通 計 16/17 名）ことを確認して理事会成立を宣言した。

2. 議事録承認(審 総務 湊 資料 2 2 - 3 - 2)

前回議事録について承認された。

3. 入退会状況(審・回覧 会員 資料 2 2 - 3 - 3)

会長より資料報告，審査対象者資料回覧．微減．

入会者について承認された．

退会者については理事から会員継続の声かけを行い次回まで持ち越す．

ただし一般社団法人化後は、退会は承認事項でなく会員の任意で退会可能．

4. 第 32 回第 2 種 ME 技術実力検定試験結果報告および合格者認定(報・審 ME 技術教育 石原 資料 2 2 - 3 - 4)

・石原理事より報告．受験者漸増しここ 3 年 5000 人超．平均点・合格率平均並み．

・合格者認定はメール審議済(11 月上旬合格発表の必要性のため)．この観点から来年から理事会を 10 月中に開催することを要請．

・規模が大きくなってきたため ME 試験関連委員選任の内規整備を会長から要請された．

・医療安全，法律・ガイドラインに関する内容について検討することが意見として出された．

5. 一般社団法人化作業の現状報告(報 総務/定款改訂 WG 湊 資料 22-3-5 および別紙メモ) 湊理事より来年の総会で承認を目指す定款案を報告．

・第 6 条：準会員の定義が不明確であるようなら改訂．代議員選挙の立候補制は矛盾しないが削除しても良い．

・第 12 条：会員資格の喪失条件「会費滞納 1 年以上」は厳格すぎる．期間を 2 年に延ばす・復活要件を追加するなど必要．

・第 15 条：「入会の基準」とは？入れるならば総会にて「入会の基準」を議決しなければならない．

・第 18 条：書面→書面または電子的方法．他の条項においても同様．

・第 23 条：理事は 16 名以上 20 名以内．

・第 24 条：定年年齢の確認．名誉会員規定を確認(定年制により名誉会員が大幅に発生することはない)．65 歳とする．

・理事長，理事，代議員の任期と選任時期のズレをリセットする必要がある．

・公益財産の処分計画の作成．公益事業の赤字によって公益財産を償還する．

・現在の財産は約 2 億円．今年度の年次収益事業赤字は学術集会事業(1296)，ME フォーラム(32)，サマースクール(40) の約 1368 万円/年．よって 13 年 8 ヶ月で償還．

・償還中は、文科省管轄は離れても内閣府管轄からは離れないので早く完了することが望まれる。

・学会の金が 2 億円無くなるわけではなく、この金は公益事業以外に使えないので公益事業を赤字にしておいて数字上消費しなければならないということ。

・事務局を強化して公益法人を目指すのも一つの手。事務局整備・税金等の要素を精査して一般社団法人と公益法人とどちらがよいかを検討する。一般社団法人から公益法人への移行は可能であるので、これまで通り一般社団法人化をそのまま進め公益法人については必要があれば今後検討する。

6. 選奨各賞選定委員会委員案の件(報・審 選奨 小笠原 資料 2 2-3-6 および別紙)
小笠原理事より報告。資料 3-6 の科学新聞賞・阿部賞の委員案を別紙に変更。(タイトルが新技術開発賞になっているが正しくは阿部賞・研究奨励賞)

7. 代議員候補者選挙結果および今後の選挙日程の件(報・審 選挙管理 生田 資料 2 2-3-7)

事務局より報告。

・〆切必着で到着した投票数が 215 通、遅れが 121 通。委員長判断により遅れを含めて有効投票に認定。無効投票は白票 4 通。

・選挙前に任期未了の理事・監事を代議員に含める方法については持ち回り理事会にてメール審議し、被選挙人として当選時は 2 年、落選時は理事任期中の 1 年のみと決定。(資料 2 2-3-15-①)

・資料の選挙規定に基づき代議員当選者 170(含現理事)および次点 13 を選出したことが報告された。

・代議員候補者名簿→代議員「当選者」名簿に訂正。総会での承認を経て代議員となる。

・代議員辞退は相当の理由がない限り認められない(会員に資格を持ち候補者名簿に掲載された次点で「立候補」と認定されるため)

8. 編集状況について(報・審 編集 牧川 資料 2 2-3-8)

・牧川理事より報告。

・編集状況。資料①にて牧川理事より報告。

・広告費引き下げの件。資料②にて説明。現状日本光電 1 社のみでコロナ社が時々程度。他学会に比べても広告費がかなり高い。約半額の新材料を設定。編集委員会にてメール審議し全会一致で賛同。本理事会にて承認。

・50 周年記念誌について。編集委員会にて意見。編集方針を資料③にて説明。

・名誉会員全員にお願いする 50 年史寄稿は海外名誉会員にも依頼する。若手寄稿は木村先生に候補者選定依頼済み。・装丁は第 1 号と同じ。・編集日程は遅れ気味だが 50 回大会に間

に合わせる.

- ・ 発刊について承認.
- ・ 研究連絡会, 歴史的な ME 拠点(北大応電研, 東大医用電子等), ME から育った学会なども掲載して欲しい.

9. ME 選書シリーズの開始について(審 教育 牧川 資料 22-3-9)

- ・ 教科書シリーズは終了. 未発刊のまま残った部分は選書シリーズとして単行本化することを検討したい. 発刊内容と工程について牧川理事より説明. 承認.
- ・ どのように依頼するか.
- ・ MD に基本的 ME 知識を教える教科書(カリキュラム)が必要. 特に安全性. 石原先生のシラバスを参考にしたい.
- ・ 本理事会の議論を元に牧川理事が案を作成.

10. 旅費規程について(報・審 規約 石原 資料 22-3-10)

石原理事より説明. 9月30日に関係者で審議.

主な変更点は

- ・ 日当を追加
- ・ 宿泊料を 13,000 円に
- ・ 請求手続を追加. 当日概算払, 大幅な値段変更(航空運賃等)の場合は証拠書類の提出
- ・ 外国旅費は現行通り
- ・ 旅費の調整(二重支給の除外)

である.

- ・ 第 3 条の「最も経済的な通常の経路及び方法」を「最も合理的な通常の経路及び方法」へ
- ・ 理事会は日当除外であることを次年度第 1 回理事会で確認する.
- ・ 旅費の調整(二重支給の除外)は第 7 条 2 項でなく第 8 条とする.

本理事会で承認し運用を開始する. ME 技術教育委員会については年度途中での変更が難しいため来年 4 月からの運用とする.

11. 生体医工学シンポジウム報告(審 支部 千原 資料 22-3-?)

千原理事(代 大城幹事)より報告. ベストリサーチアワード 7 件について承認された.

12. 第 49 回大会開催報告と決算報告(報・審 第 49 回大会 千田 資料 22-3-14)

千田理事より報告. 決算報告について承認された.

- ・ 寄付金収入が厳しかった.
- ・ 学生参加費の設定を安くしすぎた結果となった. また, ランチョンが持ち出しになった

ため厳しい決算となった。

- ・非会員の参加者が多い(例年も同じ)。企業参加者が多い感がある。入会者を増やす必要。
- ・NEDO ワークショップの請求が安すぎる。純粋な会場費のみ請求しているが今後は経費全体を按分して請求すべき。

1 3. 第 5 0 回大会準備状況報告(報 第 5 0 回大会 土肥)

土肥理事より報告。

- ・オーガナイズドセッション募集を行った。
- ・現在演題募集準備中。専門別研究会も同様。11月30日〆切予定だが近いので確認する。
- ・募集案内を学会誌だけでなくメーリングリストでかける。
- ・例年の非会員参加者の多さから、非会員参加費価格を上げることについて検討する。

1 4. 第 5 1 回大会について(報・審 第 5 1 回大会 橋爪)

橋爪理事欠席のため次回報告。

1 5. 持ち回り審議事項報告(報 持ち回り審議 湊)

湊理事より①③について報告。

佐久間理事より②について報告。

1 6. その他について

- ・第 49 回大会抄録の Web 公開について(千田理事)
- ・大会 Web でなく学会 Web に掲載することを広報委員会で検討を。
- ・12月韓国 BME 大会に会長出席。
- ・先方に BioMedical Letters(英文誌)発刊の計画があり日韓共同出版の打診あり。本件について情報収集してくる。
- ・本会で日本独自の英文誌計画もあるのでそれとの兼ね合いを。
- ・6th Asian-Pacific がマレーシアで来年 6 月 20-23 日。抄録 1 月 15 日〆切。(佐久間理事)

以上